

南海トラフ巨大地震の見直し検証の集い

東日本大震災を契機に、南海トラフ巨大地震に対する様々な法律や対策指針が見直されています。

平成25年3月には、経済被害を含む最終的な被害想定が発表されました。

今回のセミナーでは、国及び近畿府県の防災担当者と、大規模災害対策研究機構の河田恵昭理事長を

はじめとする専門家により、各自治体の被害想定、地震津波防災対策等を解説するとともに、

「今後に向けて何をすべきか」をテーマにパネルディスカッションを行います。

開催日時 平成25年11月7日（木） 11:00～18:30

10:40 開場 11:00 開始

会場 大阪市立北区民センター 2階ホール

大阪市北区扇町 2-1-27 電話 06-6315-1500

地下鉄堺筋線「扇町」駅 2号-B出口北へ3分

地下鉄堺筋線・谷町線「天神橋筋6丁目」駅 JR環状線「天満」駅 西へ3分 北区役所隣

テキスト代（受講料含む） 2,000円 CDR会員は、1,000円

プログラム （敬称略）



【午前の部】

11:00～11:40

特別講演1『災害対策基本法の一部改正に関する解説』

講師：田宮 庸裕／内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（調査・企画担当）参事官補佐

11:45～12:25

特別講演2『津波防災地域づくりについて』

講師：五道 仁実／国土交通省水管理・国土保全局海岸室 室長

【午後の部】

13:25～14:05

特別講演3『津波予警報の改善についての解説』

講師：柿下 毅／大阪管区気象台技術部地震情報官

14:10～16:45

話題提供『南海トラフ巨大地震に向けた自治体の地震・津波対策』

①高知県：酒井 浩一／高知県危機管理部 副部長（総括）

②三重県：稲垣 司／三重県防災対策部 部長

③静岡県：岩田 孝仁／静岡県危機管理監代理 兼 危機管理部部長代理

④和歌山県：高瀬 一郎／和歌山県総務部危機管理局 局長

⑤大阪府：幸田 武史／大阪府危機管理監

17:00～18:30

パネルディスカッション『南海トラフ巨大地震にむけて、何をすべきか』

コーディネータ：矢守 克也／京都大学防災研究所教授 CDR理事

パネリスト：河田 恵昭／関西大学教授 CDR理事長

藤山 秀章／内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（調査・企画担当）

五道 仁実／国土交通省水管理 国土保全局海岸室 室長

幸田 武史／大阪府危機管理監

高瀬 一郎／和歌山県総務部危機管理局 局長

【平成25年度科学研究費補助金 基盤研究Sの助成により開催】

参加ご希望の方は、NPO法人 大規模災害対策研究機構（CDR）のホームページ（URL <http://www.e-tsunami.com/>）内の「受講申込書」に必要事項をご記入の上、FAX（06-6373-5108）または、メール（cdr@newjec.co.jp）でお申込みください。ホームページが閲覧できない方は、お名前、所属、連絡先（電話番号、FAX番号、E-Mailアドレス）、参加人数を任意の様式でご記入の上、FAX（06-6373-5108）または、メール（cdr@newjec.co.jp）でお申込みください。

主催：特定非営利活動法人大規模災害対策研究機構（CDR） URL：<http://www.e-tsunami.com/>

【事務局（お申込み先）】株式会社 ニュージェック 技術開発グループ内 吉田まで

〒531-0074 大阪市北区本庄東2丁目3番20号 FAX：06-6374-5108 E-mail：cdr@newjec.co.jp